

## 適正技術フォーラム設立記念国際会議を開催しました

適正技術の開発と普及を促すセクター横断的なプラットフォーム「適正技術フォーラム」の設立を記念して、2017年11月4日(土)、5日(日)に、セミナー・シンポジウムからなる国際会議「持続可能な開発のための適正技術の新たな展望」(適正技術フォーラム準備委員会主催、特定非営利活動法人 APEX 共催)が開催されました。イベントは、市ヶ谷の JICA 地球ひろば国際会議場にて行われ、2日間で延べ 151 名が参加されました。

### 【第1日目】



「エネルギー最小消費型の新規の下水処理技術の開発と展開  
—インド、エジプト、日本での実施例—」  
原田秀樹(東北大学教授)

「『高倉式コンポスト』の技術の開発と普及」  
高倉弘二(高倉環境研究所代表)



「途上国の村落向け小規模上水供給システムの開発と普及」  
西嶋良介(ヤマハ発動機株式会社)

「炭素中立世界でのブータンのリープフロッグ発展の可能性」  
西岡秀三(地球環境戦略研究機関顧問)



### 【第2日目】



「近代技術的要素を活用した革新的適正技術の開発—インドネシアにおける排水処理とバイオマスエネルギー事業の事例から—」  
田中直(APEX 代表理事)

「コミュニティベースの住民参加型技術を用いた  
貧困の解消—インドネシアにおける水供給、小産業開発の事例から—」  
アントン・スジャルウォ(ディアン・デサ財団ディレクター)



「技術的公正—持続可能な発展に向けてのテクノロジー・ガバナンスへの挑戦—」



サイモン・トレース(プラクティカル・アクション元 CEO)  
 「適正技術を用いた住民のためのエネルギー供給—インドにおける  
 農業廃棄物からのバイオチャー・バイオブリケット生産—」  
 M.S.シドヘシュワール(ARTI 代表)



「JICA の国際協力の歩みと適正技術」  
 加藤宏 (国際協力機構理事)



シンポジウム「持続可能な開発のための適正技術の新たな展望」  
 座長:水野広祐(京都大学教授)

今回の国際会議では、国内外から適正技術分野の活動に取り組む講師の方がたをお招きして、適正技術分野での実践を踏まえつつ、今後の持続可能な開発において適正技術の果たす役割について議論を深めました。また、シンポジウムでは、参加者からも活発に意見が出され、適正技術という概念のもとで、これから本当に必要とされる技術をこのフォーラムで考え実践していくことの重要性が再確認されました。



シンポジウム後は、適正技術フォーラム設立記念セレモニーとして、主催、来賓の代表者のテープカットとともに、適正技術フォーラムの正式な設立が宣言されました。

アンケートからは、適正技術フォーラムの活動への期待が多く寄せられ、今後の活動の活発な展開が望まれていることが感じられるイベントとなりました。今後の計画では、適正技術フォーラムが主催の第1回目のイベントが 2017 年 3 月までに開催される予定です。



### イベント概要

#### 【イベント名】

適正技術フォーラム設立記念国際会議 —持続可能な開発のための適正技術の新たな展望—

#### 【日時】

2017 年 11 月 4 日(土)、5 日(日)

#### 【会場】

JICA 地球ひろば 国際会議場(東京、市ヶ谷)

#### 【主催】 適正技術フォーラム準備委員会

【共催・事務局】(特活)APEX

#### 【後援】

外務省、毎日新聞社、  
 (特活)国際協力 NGO センター  
 (特活)開発教育協会

#### 【賛同団体】

(特活)アジア・コミュニティ・センター21  
 (特活)アジア太平洋資料センター  
 (一社)SDGs 市民社会ネットワーク  
 (特活)「環境・持続社会」研究センター  
 (株)コープグリーン  
 (一財)CSO ネットワーク  
 (特活)シャプラニール＝市民による海外協力の会  
 (特活)日本国際ボランティアセンター  
 (特活)ブリッジ エーシア ジャパン

本フォーラムについてのお問合せ先

適正技術フォーラム事務局 (担当:塩原)

〒110-0003 東京都台東区根岸 1-5-12 井上ビル

Tel: 03-3875-9286 Fax: 03-3875-9306

以上